

普及活動情勢報告（令和7年12月分）

高吾農業改良普及所

多様な人材の活用に向けて～佐川町農福勉強会開催～



佐川町農福勉強会の様子

11月19日、佐川町農福勉強会が開催され、生産者や関係機関の職員14人が出席しました。

開催に向け、普及所が調整を行った今回の勉強会では、佐川町教育研究所のスクールソーシャルワーカーが佐川町の不登校児童への支援体制について講演したほか、障害者の雇用に取り組む生産者を中心に、雇用を継続するための課題、就労継続支援事業所への作業委託等について進捗状況の報告や情報交換を行いました。

メンバーの多機能型就労継続支援事業所からは、就労選択支援事業の開始報告とともに、今後も農福で業務を行っていききたいと発言がありました。

普及所は、今後も生産者や関係機関と連絡を取り合い、農福連携を推進していきます。

シシトウ収量目標達成に向けて～個別面談を実施～



面談の様子

12月4日と8日に普及所がJAとともに、JA高知県越知シシトウ部会の生産者2名と個別面談を実施しました。

面談では、R7年度の目標収量の達成率を確認し、栽培管理の振り返りを行い、R8年度の改善策を協議しました。

生産者からは「時期ごとの病害虫対策に不安がある」「初期の活着を良くするにはどうしたらいいか」等の意見があり、それらの対応策について検討しました。

普及所は今後、協議内容をもとに技術指導や情報共有等を行い、生産者が来年度の収量目標を達成できるように支援していきます。

～農村女性リーダーの品目別現地研修会～ 高吾地区農村女性リーダー研修



現地にて～リーダーからの説明を熱心に聴講

12月9日、高吾普及所が管内の農村女性リーダーと女性農業者を対象とした現地研修会を開催し、合計9名が参加しました。

今回は、自分の品目とは違う栽培現場を訪問し勉強したいとの女性リーダーの意見をうけ、トマト農家とイチゴ農家のハウスに訪問し、女性リーダーから品目の特徴や日頃の取り組みについて説明しました。

参加者は、「高糖度トマトの栽培のこだわりは何か」「雇用者に対する工夫はあるか」「イチゴは育苗期間がこんなに長いと知らなかった」など、栽培の苦労やほ場管理の工夫、雇用に対する労務管理など様々な視点での質疑応答を行い、自分の栽培品目の違いなどを学んでいました。

普及所は、引き続き意欲ある管内女性農業者を支援すると共に学びの場を提供していきます。